

川重冷熱工業株式会社

東京本社 Tel. (03) 3615-5821 <http://www.khi.co.jp/corp/kte/>

NO. 2009111

2010年3月29日

**大型貫流ボイラ「Ifrit Beat (イフリートビート)」
世界初の燃焼ターンダウン10：1制御システムを新発売**

川重冷熱工業は、大型貫流ボイラ「Ifrit Beat (イフリートビート)」(以下、イフリートビート) ガス焚き仕様6 t/hおよび5 t/hタイプにおいて、貫流ボイラとしては世界で初めて連続燃焼による負荷調整可能領域を大幅に拡大した燃焼ターンダウン(1) 10：1制御システムを開発し、2010年4月より発売を開始します。

大型貫流ボイラ「イフリートビート」は、

大型ボイラ並の優れた制御方式と高い蒸気乾き度特性

小型貫流ボイラ並の高効率と省スペース、斬新なデザイン

タッチパネルと状態表示LEDによる容易な操作性

という特長を持つボイラとして、2009年4月に販売を開始しました。その優れた蒸気圧力の安定性、高効率、素早い起蒸という特長から、主に産業用の主熱源機や、コージェネレーションシステムのバックアップ用熱源機などに幅広く使用されています。

今回新発売する燃焼ターンダウン10：1制御システムは、バーナの燃焼量を最大燃焼量の10分の1まで制御することで、ボイラの燃焼がON-OFFになることを最小限に抑え、省エネルギーと環境負荷低減に寄与するシステムです。これにより、ボイラの低負荷運転領域(10%～16%負荷)におけるボイラ蒸気圧力のより一層の安定化と、パージ損失(2)の低減により、本システムを搭載していない従来機(燃焼ターンダウン6：1)と比べ、燃料消費量およびCO₂を最大13%(3)削減することが可能となります。

本システムの有効な利用先としては、蒸気負荷変動が激しく現状のボイラではON-OFF運転を余儀なくされているプロセスや、燃料消費量の削減が期待できるコージェネレーションなどバックアップ用熱源などがあります。

今後とも、当社は、ユーザーの要望に応え、省エネルギーや環境負荷低減を実現できるシステム・機器の開発・販売を通じて、地球環境に貢献していきます。

1：燃焼制御が可能な最大燃焼量と最小燃焼量との比。通常、最小燃焼量を「1」で表す。

2：ボイラは燃焼工程の前後に空気による炉内の換気(パージ)を行なうが、その際のパージ空気によりボイラが冷却されることによる熱損失。

3：蒸気負荷10%での当社測定値の比較

大型貫流ボイラ「イフリートビート」ガス焚き仕様6 t / hおよび5 t / hタイプ向け燃焼ターンダウン10 : 1システムの特長は、次の通りです。

1. 主な特長

省エネルギー

- ・ バーナの燃焼量を最大燃焼量の10分の1まで制御することで、ボイラの燃焼ON - OFFを最小限に抑え、低負荷でも高効率な省エネルギー運転が可能。

蒸気圧力の安定性

- ・ 広い燃焼範囲と貫流ボイラの速い応答特性を存分に活かし、蒸気圧力はさらに超安定制御。

有効な利用用途

- ・ バッチ運転や蒸気式吸収冷温水機など蒸気負荷の変動が激しいプロセス
- ・ コージェネレーションなどのバクアップ用熱源

お問合せ先

川重冷熱工業株式会社 東京本社
営業・サービス総括室 営業・サービス管理部
TEL 03 - 3615 - 5821

以上

ご参考

川重冷熱工業株式会社の概要

- | | |
|-----------|--|
| (1) 会社名 | 川重冷熱工業株式会社 |
| (2) 本店所在地 | 滋賀県草津市青地町1000番地 |
| (3) 代表者 | 代表取締役社長 大黒 一豊 |
| (4) 設立年月 | 1972年3月 |
| (5) 資本金 | 14億6,050万円(JASDAQ上場) |
| (6) 事業内容 | ボイラ・空調機器・吸収式ヒートポンプなどの製造、
販売・据付・アフターサービスなど |
| (7) 従業員数 | 502名(2009年9月30日現在) |